



WD-TR200/WD-WT20 用

子機登録ソフトウェア マニュアル



- 本品「WD-TR200/WD-WT20 用子機登録ソフトウェア (WDZS30J)」は、「WD-TR200/TR100 用子機設定ソフトウェア (WDZS20J)」に同梱の CD-ROM (SPL0012 V1-00) と同等品です。WDZS20J は、WD-3000 シリーズでご使用になれます。ソフトウェア内部の表記は「WT-TR200/TR100 用子機設定ソフトウェア」となっておりますので、ご注意願います。
- WD-3000 シリーズでは、WD-TR100 はご使用になれませんので、ご注意ください。

■本文中の記号の見かた



操作上の注意が書かれています。



機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

■本書の記載内容について

- ・ 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- ・ 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書で ™、®、© などのマークは省略してあります。
- ・ 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

もくじ

□ はじめに	4
□ 動作環境	4
□ お使いになる前の準備	5
接続	5
インストール手順	6
アンインストール手順	8
□ メニュー（モード選択）の使いかた	9
起動	9
通信ポートの選択	10
□ 子機設定登録モードの使いかた	11
本体 SW 動作モードの設定	11
本体 SW 長押し確定時間の設定	11
機能ボタンの設定	12
■WD-3000 シリーズで子機を使用する場合	12
■WD-2000 シリーズで子機を使用する場合	13
PS 番号の設定	14
暗証番号の設定	14
子機登録	15
音量レベルの設定	16
圏外お知らせ音の設定	16
設定の保存、読み込み	17
設定の印刷	19
□ データ保存書き込みモードの使いかた	20
子機からの読み込み～ファイル保存	21
ファイル読み込み～子機書き込み	21

□ はじめに

WD-TR200/WD-WT20 用子機登録ソフトウェアは、ポータブルトランシーバーWD-TR200 及びワイヤレストランシーバーWD-WT20 の子機登録を行うためのものです。

このマニュアルにしたがってパソコンに WD-TR200/WD-WT20 用子機登録ソフトウェアをインストールしてお使いください。

なお、あらかじめ WD-3000 シリーズ取扱説明書「設置・設定編」をよくお読みになってから、WD-TR200/WD-WT20 用子機登録ソフトウェアをご使用ください。

これ以降、WD-TR200/WD-WT20 用子機登録ソフトウェアを「子機登録ソフトウェア」と呼び、またポータブルトランシーバーWD-TR200、ワイヤレストランシーバーWD-WT20 を「子機」と呼びます。

□ 動作環境

子機登録ソフトウェアは、以下のようなパソコン環境での動作確認を行っております。

項目	動作環境条件
OS	Microsoft Windows XP Home Edition(SP2) Microsoft Windows XP Professional(SP2)
CPU	Celeron 1.5GHz
メモリー容量	256MB
ディスプレイ	解像度 1024×768 画素 32 ビット フルカラー
その他	HDD：インストールするために 5MB 以上の空き容量が必要 RS-232C 準拠のシリアルインターフェース マウス



- この動作環境条件は、子機登録ソフトウェアを快適にお使いいただくための目安であり、動作の保証をするものではありません。動作環境条件を満たしているパソコンをお使いでも、使用状況によっては快適にお使いいただけない場合があります。
- 子機登録ソフトウェア使用時のユーザー権限は、Administratorで行なってください。
- 子機登録ソフトウェアをインストールしたパソコンでは、パワーセーブ機能・レジューム機能を使用しないでください。通信状態や通信データが不安定になることがあります。（お使いのパソコンによっては名称が異なる場合があります。）

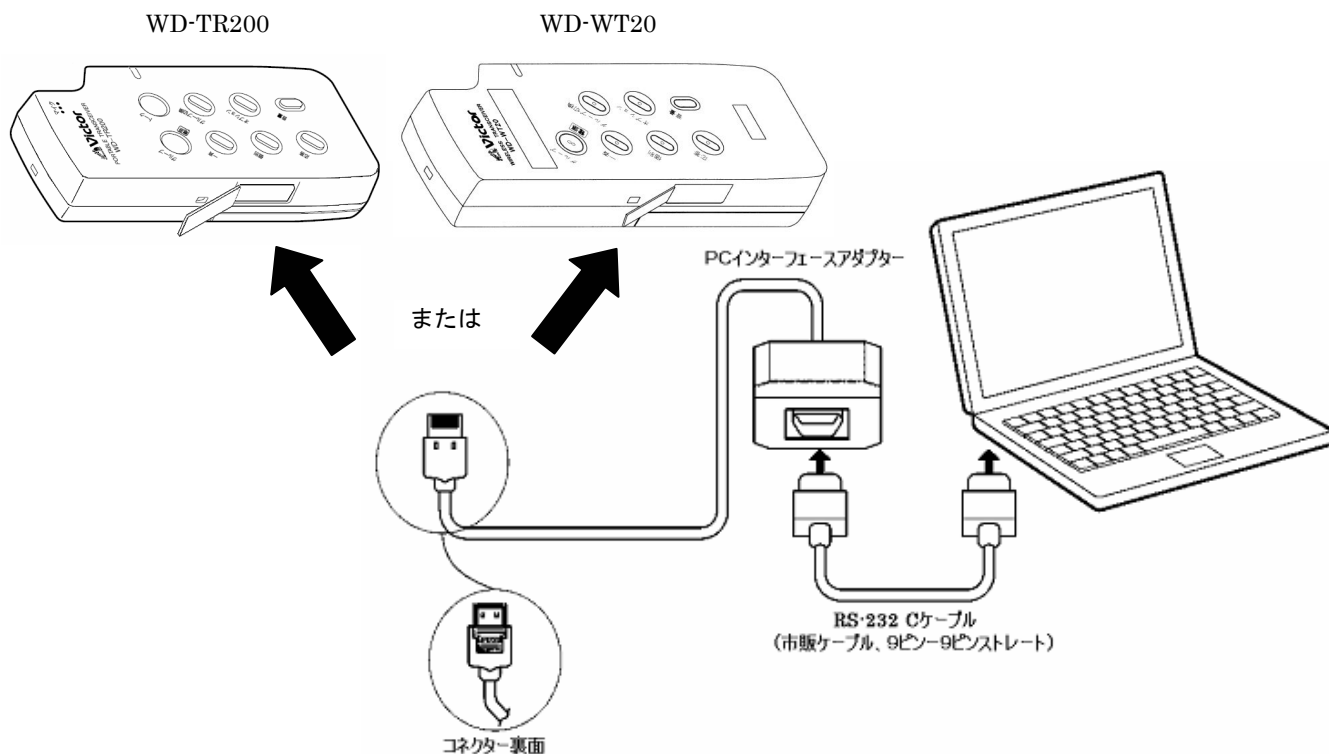
□ お使いになる前の準備

接続

子機とパソコンは、下図のように接続します。

子機と PC インターフェイスアダプターを接続するケーブルは、コネクターの「PUSH」と書いてある面を下にします。

子機とパソコンを下図のように接続してから、子機の電源を入れてください。



◆子機と PC インターフェイスアダプターを接続するケーブルのコネクターについて

- ・上図のように、「PUSH」と書いてある面を下にして接続してください。
- ・「PUSH」と書いてある部分を押しながら、抜き差ししてください。



◆RS-232C準拠のシリアルインターフェースが実装されていないパソコンへの接続

パソコンにUSBインターフェースが実装されていれば、市販の「RS-232C ⇄ USB変換アダプター」などを介して接続することができます。次の動作確認済みのもの、または同等品をご使用ください。

- ・USBtoシリアルケーブル UC-SGT (エレコム(株)製)



WD-3000 シリーズでは、WD-TR100 及び WD-TR200(B)はご使用になれません。

WD-TR200(C)及び WD-WT20 をご使用ください。

インストール手順

インストールは次の手順で行なってください。

ご注意

◆インストールを始める前に

- ・子機登録ソフトウェアをインストールするときは、Administrator権限を持つユーザーでパソコンにログインします。Administrator権限やユーザーアカウントの設定については、Windows XPのヘルプを参照してください。
- ・ウイルス対策ユーティリティを解除してください。ウイルス対策ユーティリティは、インストールの妨げとなることがあります。
- ・Windows XPおよびウイルス対策ソフトウェアは、ファイアウォール機能を搭載しているものがあります。この機能が「ON」になっていると正常に動作しないことがあります。この場合は「OFF」に設定してお使いください。

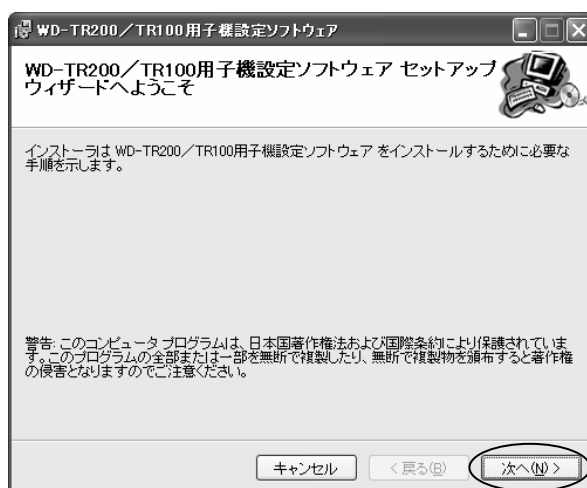
1 パソコンのCD-ROM ドライブにCD-ROM ディスク「WD-TR200/WD-WT20 用子機登録ソフトウェア」を挿入し、

CD-ROM ディスクに収録されている「Setup.exe」



をダブルクリックして実行します。

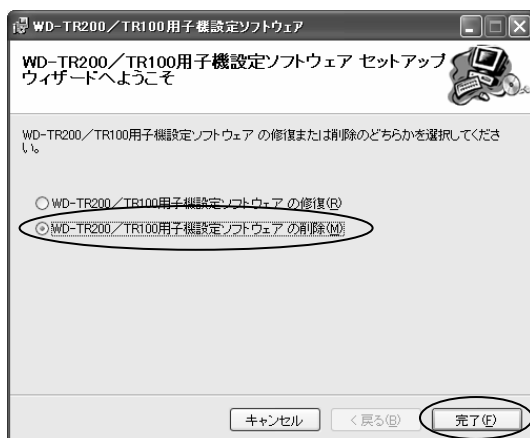
次の画面が表示されるので、「次へ」をクリックします。



メモ

古いバージョンの子機設定ソフトウェアがインストールされている場合は、下図左の画面が表示されますので、一度削除してから再度手順 1 からやり直してください。

「WD-TR200/TR100 用子機設定ソフトウェアの削除」を選択し「完了」をクリックしてください。削除が完了すると、下図右の画面が表示されるので、「閉じる」をクリックしてウィンドウを閉じてください。



- 2 画面に表示されたフォルダへインストールする場合は、「次へ」をクリックします。
別のフォルダへインストールする場合は、「参照」をクリックして選択するか直接フォルダ名を入力し、インストールするフォルダを変更した後、「次へ」をクリックします。



- 3 次の画面が表示されるので「次へ」をクリックすると、インストールが開始されます。



- 4 しばらくすると、次の画面が表示されるので、「閉じる」をクリックしてウィンドウを閉じます。
以上で、インストールは完了です。



アンインストール手順

アンインストールは次の手順で行なってください。



◆インストールを始める前に

- ・子機登録ソフトウェアをアンインストールするときは、Administrator権限を持つユーザーでパソコンにログインします。Administrator権限やユーザーアカウントの設定については、Windows XPのヘルプを参照してください。

- 1 Windowsのコントロールパネルから、「プログラムの追加と削除」を選択します。
- 2 現在インストールされているプログラムの一覧から、「WD-TR200/TR100用子機設定ソフトウェア」を選択し「削除」をクリックします。
- 3 削除を確認するメッセージが表示されますので、「はい」をクリックします。



子機登録ソフトウェアを起動した時に作成された「C:\¥WDTR200 設定ログフォルダ」および「C:\¥WDTR100 設定ログフォルダ」は、その中に設定を保存したファイルなどがあると削除されません。

□ メニュー（モード選択）の使いかた

起動

パソコンのスタートメニュー中の「WDTR200setup.exe」またはデスクトップ上の「WD-TR200/TR100 用子機設定ソフトウェア」のアイコンから起動すると、以下のようなメニュー（モード選択）画面が表示されます。

動作モードは、設置時に使用する『子機設定登録モード』と『データ保存書き込みモード』が有効となっています。保守時に使用する他の動作モード（保守用動作モード）もありますが、保守用動作モードを有効にするためにはプロテクトファイルが必要です。プロテクトファイルについては、最寄りのシステム営業所へお問い合わせください。

スタートメニューから起動



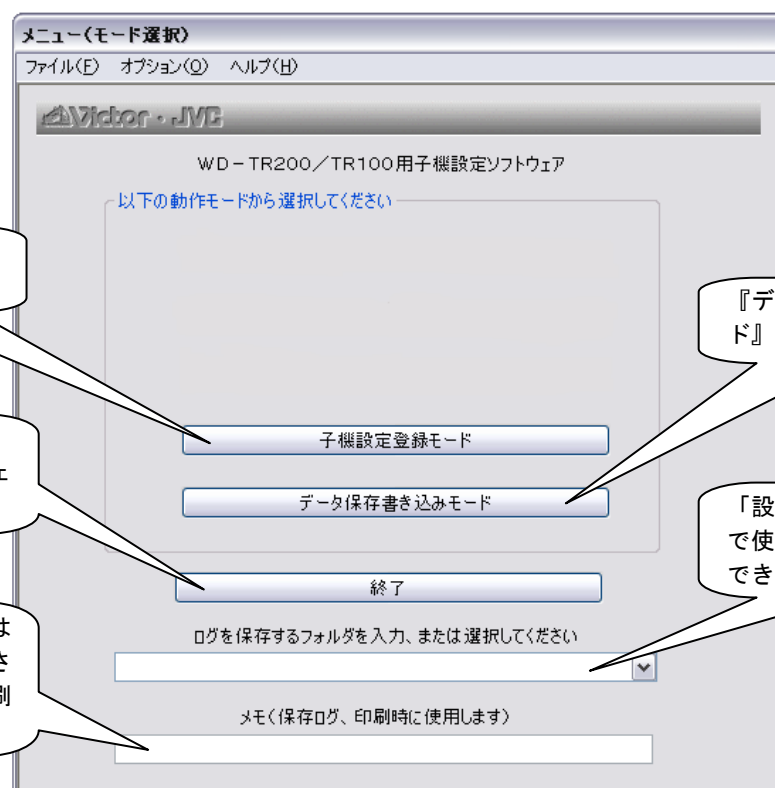
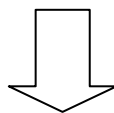
クリックする

デスクトップから起動



ダブルクリックする

または



『子機設定登録モード』の画面に変わります。

メニュー（モード選択）画面を閉じてソフトウェアを終了します。

ここに書かれたメモは「設定の保存」で保存され、「設定の印刷」で印刷されます。

『データ保存書き込みモード』の画面に変わります。

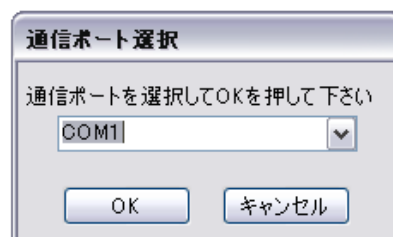
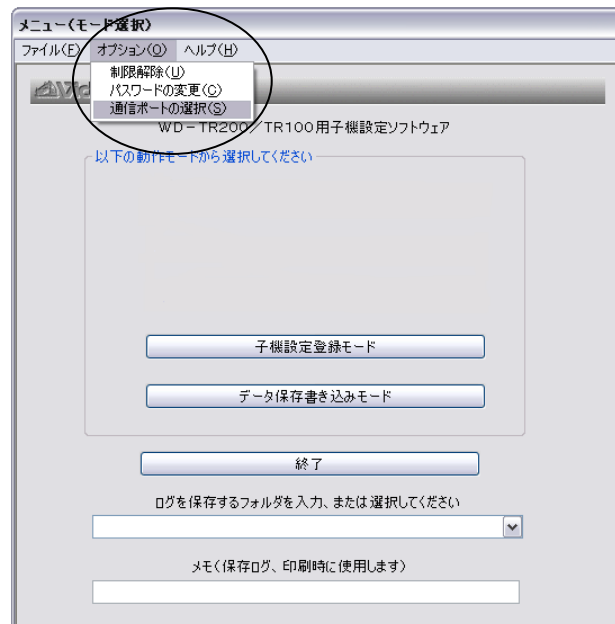
「設定の保存、読み込み」で使用するフォルダを指定できます。



子機登録ソフトウェアを起動すると、設定の保存などで使用する2つのフォルダ「C:\¥WDTR200 設定ログフォルダ」「C:\¥WDTR100 設定ログフォルダ」が作成されます。

通信ポートの選択

メニュー（モード選択）画面の「オプション」＞「通信ポートの選択」で、「通信ポート選択」ウィンドウが表示されます。プルダウンメニューから使用するポートを選択して「OK」をクリックしてください。設定を保存したファイルを開いて表示するなど、子機を接続しないときは、「通信ポート未使用」を選択してください。



「オプション」で表示される「制限解除」と「パスワードの変更」はご使用になれません。

□ 子機設定登録モードの使いかた

メニュー（モード選択）画面の「子機設定登録モード」ボタンをクリックすると、次のような子機設定登録モード画面が表示されます。

WD-TR200、WD-WT20 共に操作は全て同じです。

WD-WT20 を接続した場合でも、接続モデルは WD-TR200 と表示されます。

ここに書かれたメモは「設定の保存」で保存され、「設定の印刷」で印刷されます。

接続する子機を交換するとき、このボタンをクリックします。子機を交換した後「交換完了」ボタンをクリックすると、表示が更新されます。

メニュー（モード選択）画面に戻ります。

本体 SW 動作モードの設定

本体 SW 動作モードは「短アサイン」のみとなりますので、設定変更は出来ません。

本体 SW 長押し確定時間の設定

本体 SW 動作モードは「短アサイン」のみとなりますので、設定変更は出来ません。

機能ボタンの設定

■WD-3000 シリーズで子機を使用する場合

機能ボタンを押したときに実行される機能の割り付けは、WD-3000 シリーズ取扱説明書「設置・設定編」にしたがって「子機設定」により行います。

スイッチアサインについては、工場出荷設定のままでご使用ください。変更すると機能ボタンの設定が正しく行えません。変更を行った場合は、以下の表のように工場出荷の設定に戻してください。

設定は、「設定書き込み」をクリックすることで子機に保存されます。

WD-WT20 は、リモコンスイッチは対応できません。

SW1	応答 SW	リモコン SW1	応答 SW
SW2	個別 1SW	リモコン SW2	個別 1SW
SW3	一斉 SW	リモコン SW3	一斉 SW
SW4	個別 2SW	—	—
SW5	放送 SW	—	—

変更しないでください。

■WD-2000 シリーズで子機を使用する場合

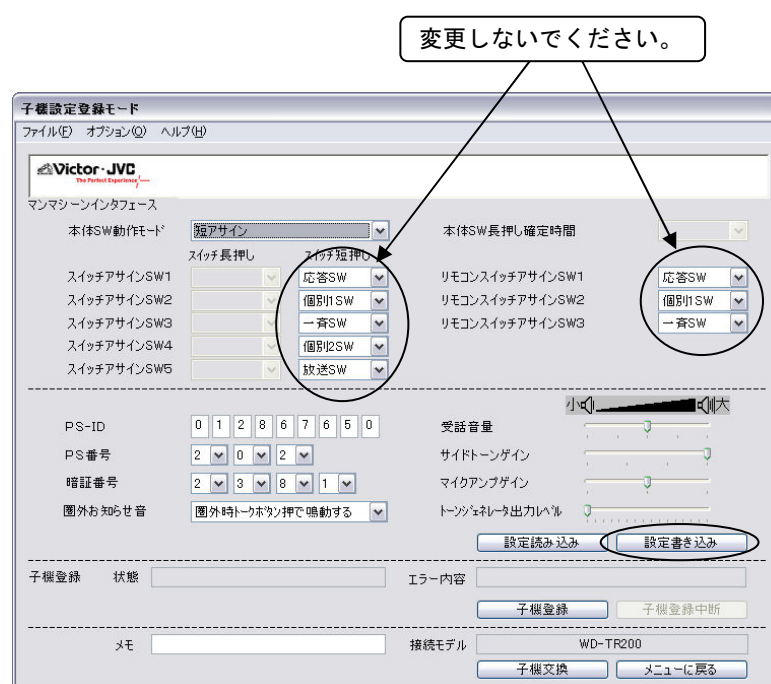
機能ボタンを押したときに実行される機能の割り付けは、設置説明書（データ設定説明書）にしたがってシステムデータ設定により行います。

スイッチアサインについては、工場出荷設定のままでご使用ください。変更すると機能ボタンの設定が正しく行えません。変更を行った場合は、以下の表のように工場出荷の設定に戻してください。

設定は、「設定書き込み」をクリックすることで子機に保存されます。

WD-WT20 は、リモコンスイッチは対応できません。

SW1	応答 SW	リモコン SW1	応答 SW
SW2	個別 1SW	リモコン SW2	個別 1SW
SW3	一斉 SW	リモコン SW3	一斉 SW
SW4	個別 2SW	—	—
SW5	放送 SW	—	—



PS 番号の設定

子機登録時に設定します。

メインコントローラーWD-M300のWeb設定ソフトウェア>「子機登録」に表示された子機番号(PS番号)を入力します。

入力は、各桁の「▼」をクリックして選択するか、直接キーボードから入力します。

設定の詳細については、WD-3000シリーズ取扱説明書「設置・設定編」をご覧ください。

設定は、「設定書き込み」をクリックすることで子機に保存されます。

子機設定登録モード

ファイル(F) オプション(O) ヘルプ(H)

Victor JVC
The Perfect Experience

マンマシンインタフェース

本体SW動作モード: 短アサイン

本体SW長押し確定時間

スイッチ長押し: スイッチ短押し

スイッチアサインSW1: 応答SW

スイッチアサインSW2: 個別1SW

スイッチアサインSW3: 一斉SW

スイッチアサインSW4: 個別2SW

スイッチアサインSW5: 放送SW

リモコンスイッチアサインSW1: 応答SW

リモコンスイッチアサインSW2: 個別1SW

リモコンスイッチアサインSW3: 一斉SW

PS-ID: 0 1 2 8 6 7 6 5 0

PS番号: 2 0 2

暗証番号: 2 3 8 1

圏外お知らせ音: 圏外時トークボタン押で鳴動する

受話音量

サイドトーンゲイン

マイクアンプゲイン

トーンジェネレータ出力レベル

設定読み込み 設定書き込み

子機登録 状態

エラー内容

子機登録 子機登録中断

メモ

接続モデル: WD-TR200

子機交換 メニューに戻る

暗証番号の設定

子機登録時に設定します。

メインコントローラーWD-M300のWeb設定ソフトウェア>「子機登録」に表示された暗証番号を入力します。

入力は、各桁の「▼」をクリックして選択するか、直接キーボードから入力します。

設定の詳細については、WD-3000シリーズ取扱説明書「設置・設定編」をご覧ください。

設定は、「設定書き込み」をクリックすることで子機に保存されます。

子機設定登録モード

ファイル(F) オプション(O) ヘルプ(H)

Victor JVC
The Perfect Experience

マンマシンインタフェース

本体SW動作モード: 短アサイン

本体SW長押し確定時間

スイッチ長押し: スイッチ短押し

スイッチアサインSW1: 応答SW

スイッチアサインSW2: 個別1SW

スイッチアサインSW3: 一斉SW

スイッチアサインSW4: 個別2SW

スイッチアサインSW5: 放送SW

リモコンスイッチアサインSW1: 応答SW

リモコンスイッチアサインSW2: 個別1SW

リモコンスイッチアサインSW3: 一斉SW

PS-ID: 0 1 2 8 6 7 6 5 0

PS番号: 2 0 2

暗証番号: 2 3 8 1

圏外お知らせ音: 圏外時トークボタン押で鳴動する

受話音量

サイドトーンゲイン

マイクアンプゲイン

トーンジェネレータ出力レベル

設定読み込み 設定書き込み

子機登録 状態

エラー内容

子機登録 子機登録中断

メモ

接続モデル: WD-TR200

子機交換 メニューに戻る

子機登録

「子機登録」をクリックすると子機登録を開始します。子機登録開始後、途中で中断する場合は「子機登録中断」をクリックします。

子機登録中、あるいは、終了時は下表の「状態」が表示されます。

子機登録の詳細については、WD-3000 シリーズ取扱説明書「設置・設定編」をご覧ください。

状態表示	説明	対処方法
子機登録実行中	子機登録を行なっています。	—
子機登録制御完了	子機登録が正常に終了しました。	—
子機登録制御失敗（異常終了） ・エラー内容 「候補 CS なし：00」	子機登録ができませんでした。	マスターセルステーションと子機の距離を1m～10m程度で、再度子機登録を行なってください。
子機登録制御失敗（異常終了） ・エラー内容 「子機増設拒否（子機番号不一致）」	PS 番号が不一致のため、子機登録ができませんでした。	再度 PS 番号、暗証番号を正しく入力し直して子機登録を行なってください。
子機登録制御失敗（異常終了） ・エラー内容 「子機増設拒否（暗証番号不一致）」	暗証番号が不一致のため、子機登録ができませんでした。	再度 PS 番号、暗証番号を正しく入力し直して子機登録を行なってください。
子機登録中断	「子機登録中断」をクリックにより、強制中断しました。	—

音量レベルの設定

各項目のスライドバーのつまみをドラッグし、変更したい位置まで動かします。

表示の位置は工場出荷設定位置です。受話音量以外は、工場出荷設定のままでご使用になることをお勧めします。設定は、「設定書き込み」をクリックすることで子機に保存されます。

子機設定登録モード

ファイル(F) オプション(O) ヘルプ(H)

Victor-JVC

マンマシーンインタフェース

本体SW動作モード: 短アサイン

本体SW長押し確定時間

スイッチ長押し: スイッチ短押し

スイッチアサインSW1: 応答SW

スイッチアサインSW2: 個別1SW

スイッチアサインSW3: 一斉SW

スイッチアサインSW4: 個別2SW

スイッチアサインSW5: 放送SW

リモコンスイッチアサインSW1: 応答SW

リモコンスイッチアサインSW2: 個別1SW

リモコンスイッチアサインSW3: 一斉SW

PS-ID: 0 1 2 8 6 7 6 5 0

PS番号: 2 0 2

暗証番号: 2 3 8 1

圏外お知らせ音: 圏外時トークボタン押で鳴動する

受話音量: [Slider]

サイドトーンゲイン: [Slider]

マイクアンプゲイン: [Slider]

トーンジェネレータ出力レベル: [Slider]

設定読み込み 設定書き込み

子機登録 状態

エラー内容

子機登録 子機登録中断

メモ

接続モデル: WD-TR200

子機交換 メニューに戻る

- ・受話音量 : イヤホンの音量を設定します
- ・サイドトーンゲイン : イヤホンから聞こえる自分の声の音量を設定します
- ・マイクアンプゲイン : マイクの音量を設定します
- ・トーンジェネレータ出力レベル : イヤホンから聞こえるいろいろなお知らせ音の音量を設定します

ご注意

- 子機登録ソフトウェアでの受話音量の設定は、初期値の設定となります。子機の音量ボタンで音量を変更後に子機の電源を切るとそのときの受話音量が保存されますので、初期値の設定と異なります。
- トーンジェネレータ出力レベルでは、子機内部で生成される以下のお知らせ音の音量が変更できます。
 - ・圏外お知らせ音（400Hzのトーンで500msON、500msOFFの繰り返し）
 - ・電池残量警告音（800Hzのトーンで125msON、250msOFF、125msONを10秒に1回鳴動）
 - ・異常警告音（800Hzのトーンで125msON、125msOFFの繰り返し）

圏外お知らせ音の設定

子機が圏外に出たときにイヤホンから聞こえる圏外お知らせ音の設定をします。

設定は、「設定書き込み」をクリックすることで子機に保存されます。

子機設定登録モード

ファイル(F) オプション(O) ヘルプ(H)

Victor-JVC

マンマシーンインタフェース

本体SW動作モード: 短アサイン

本体SW長押し確定時間

スイッチ長押し: スイッチ短押し

スイッチアサインSW1: 応答SW

スイッチアサインSW2: 個別1SW

スイッチアサインSW3: 一斉SW

スイッチアサインSW4: 個別2SW

スイッチアサインSW5: 放送SW

リモコンスイッチアサインSW1: 応答SW

リモコンスイッチアサインSW2: 個別1SW

リモコンスイッチアサインSW3: 一斉SW

PS-ID: 0 1 2 8 6 7 6 5 0

PS番号: 2 0 2

暗証番号: 2 3 8 1

圏外お知らせ音: 圏外時トークボタン押で鳴動する

受話音量: [Slider]

サイドトーンゲイン: [Slider]

マイクアンプゲイン: [Slider]

トーンジェネレータ出力レベル: [Slider]

設定読み込み 設定書き込み

子機登録 状態

エラー内容

子機登録 子機登録中断

メモ

接続モデル: WD-TR200

子機交換 メニューに戻る

- ・圏外時常に鳴動する : 圏外時に常に圏外お知らせ音が聞こえます
- ・圏外時トークボタン押で鳴動する : 圏外時にトークボタンを押したとき圏外お知らせ音が聞こえます (工場出荷設定)
- ・圏外時常に鳴動しない : 圏外でも圏外お知らせ音は聞こえません

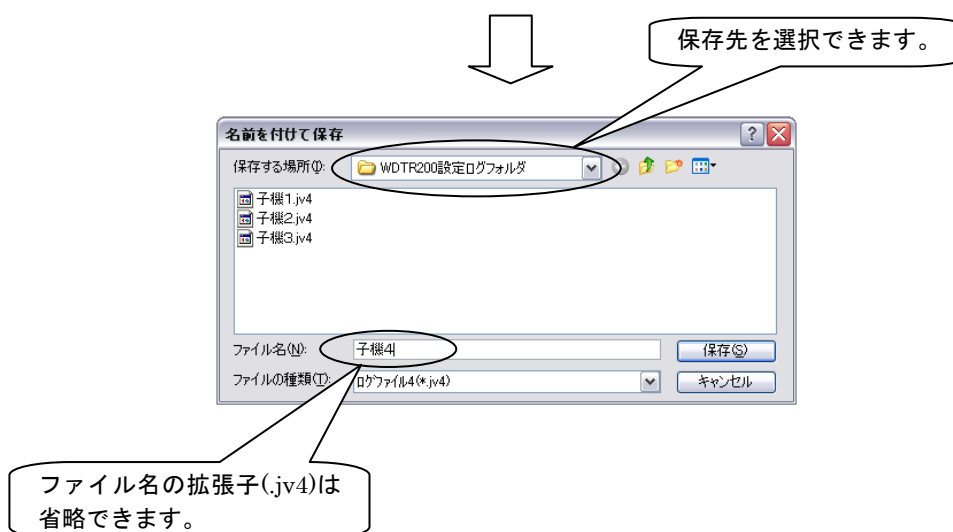
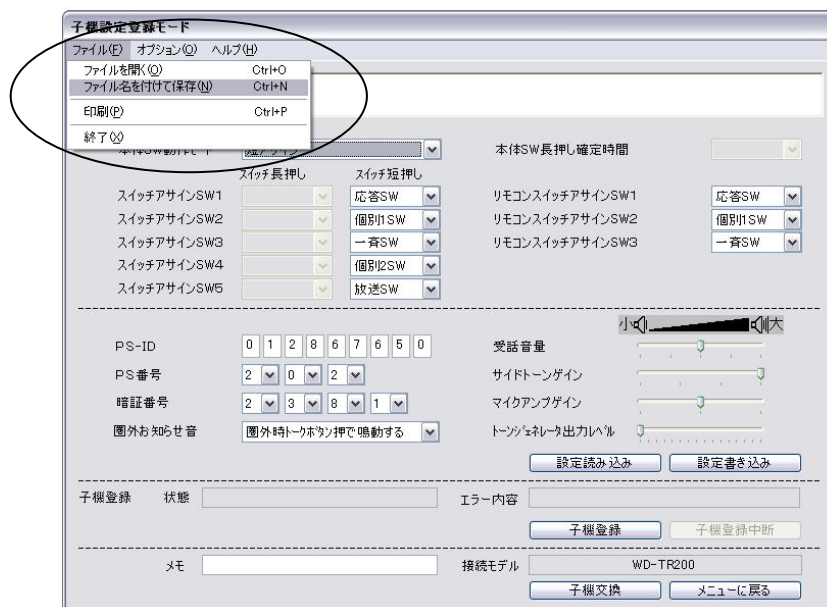
設定の保存、読み込み

子機の設定内容をパソコンに保存したり、パソコンから読み出したりすることができます。

■設定の保存

「ファイル」>「ファイル名を付けて保存」を選択すると、「名前を付けて保存」ウィンドウが表示されます。

設定を保存する場合は、ファイル名を入力して「保存」をクリックしてください。中止する場合は、「キャンセル」をクリックしてください。



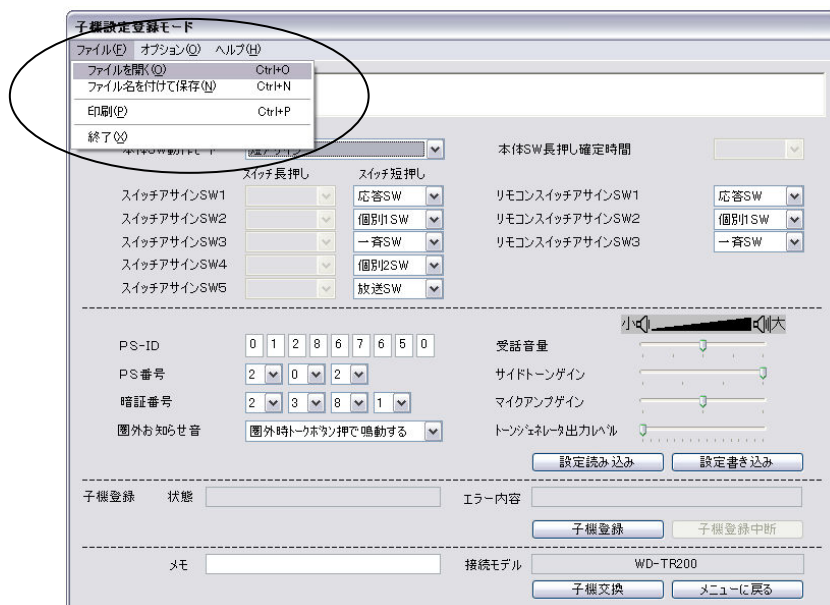
- メニュー（モード選択）画面で保存するフォルダ名を入力しない場合は、「C:\¥WDTR200 設定ログフォルダ」が設定の保存場所になります。
- メニュー（モード選択）画面で保存するフォルダ名を入力した場合は、「C:\¥WDTR200 設定ログフォルダ」の下にある指定したフォルダが設定の保存場所になります。指定したフォルダが存在しない場合は、自動的に生成されます。
- 設定の保存場所は変更することもできます。

■ 設定の読み込み

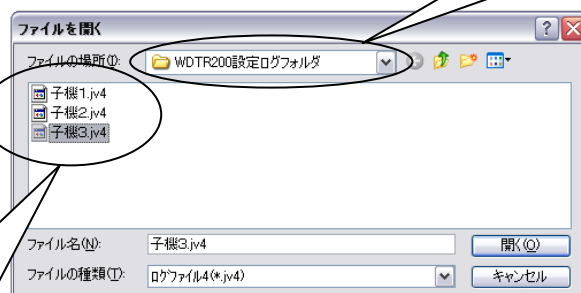
「ファイル」>「ファイルを開く」を選択すると、「ファイルを開く」ウィンドウが表示されます。

設定を読み込む場合は、読み込みたいファイルを選択して「開く」をクリックしてください。中止する場合は、「キャンセル」をクリックしてください。

設定を読み込んだ状態では、子機には書き込まれていません。読み込んだ設定を子機に書き込む場合は、「設定書き込み」をクリックしてください。



読み込み先を選択できます。



読み込むことができるファイル名が表示されます。この中から選択してください。

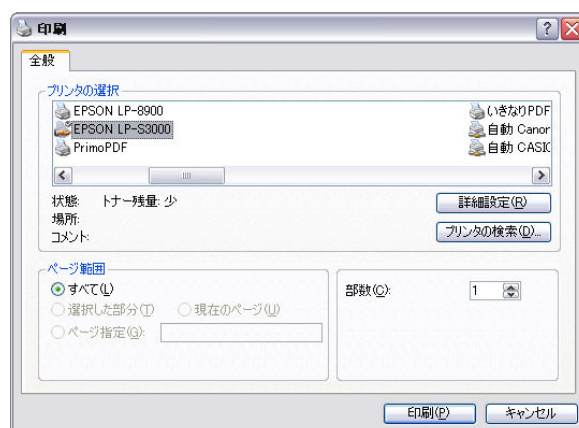
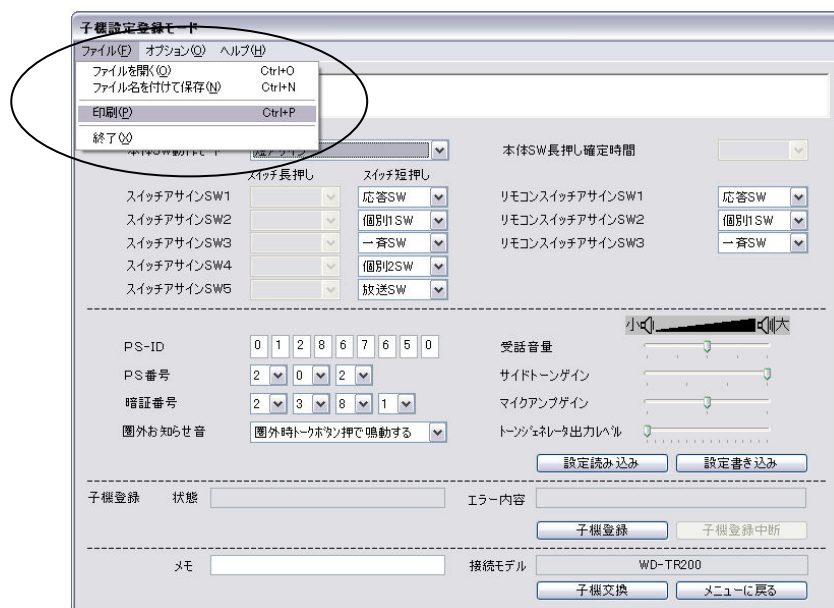


- メニュー（モード選択）画面で読み込むフォルダ名を入力しない場合は、「C:\¥WDTR200 設定ログフォルダ」が設定の読み込み場所になります。
- メニュー（モード選択）画面で読み込むフォルダ名を入力した場合は、「C:\¥WDTR200 設定ログフォルダ」の下にある指定したフォルダが設定の読み込み場所になります。指定したフォルダが存在しない場合は、自動的に生成されます。
- 設定の読み込み場所は変更することもできます。

設定の印刷

「ファイル」＞「印刷」を選択すると、「印刷」ウィンドウが表示されます。

設定を印刷する場合は、「印刷」をクリックしてください。中止する場合は、「キャンセル」をクリックしてください。



<印刷例>

WD-TR200のファイル4

お客様名: _____

メモ: _____

本体SW動作モード

本体SW長押し確定時間

スイッチアサインSW1 スイッチ長押し

スイッチアサインSW1 スイッチ短押し

スイッチアサインSW2 スイッチ長押し

スイッチアサインSW2 スイッチ短押し

スイッチアサインSW3 スイッチ長押し

スイッチアサインSW3 スイッチ短押し

スイッチアサインSW4 スイッチ長押し

スイッチアサインSW4 スイッチ短押し

スイッチアサインSW5 スイッチ長押し

スイッチアサインSW5 スイッチ短押し

リモコンスイッチアサインSW1

リモコンスイッチアサインSW2

リモコンスイッチアサインSW3

受話音量

サイドトーンゲイン

マイクアンプゲイン

トーンシミュレーション出力レベル

圏外お知らせ音

PS-ID

PS番号

暗証番号

短アサイン

秒

応答SW

個別1SW

一斉SW

個別2SW

放送SW

応答SW

個別1SW

一斉SW

目盛り

2

目盛り

3

目盛り

1

目盛り

0

目盛り

圏外お知らせ音

012867650

202

2381

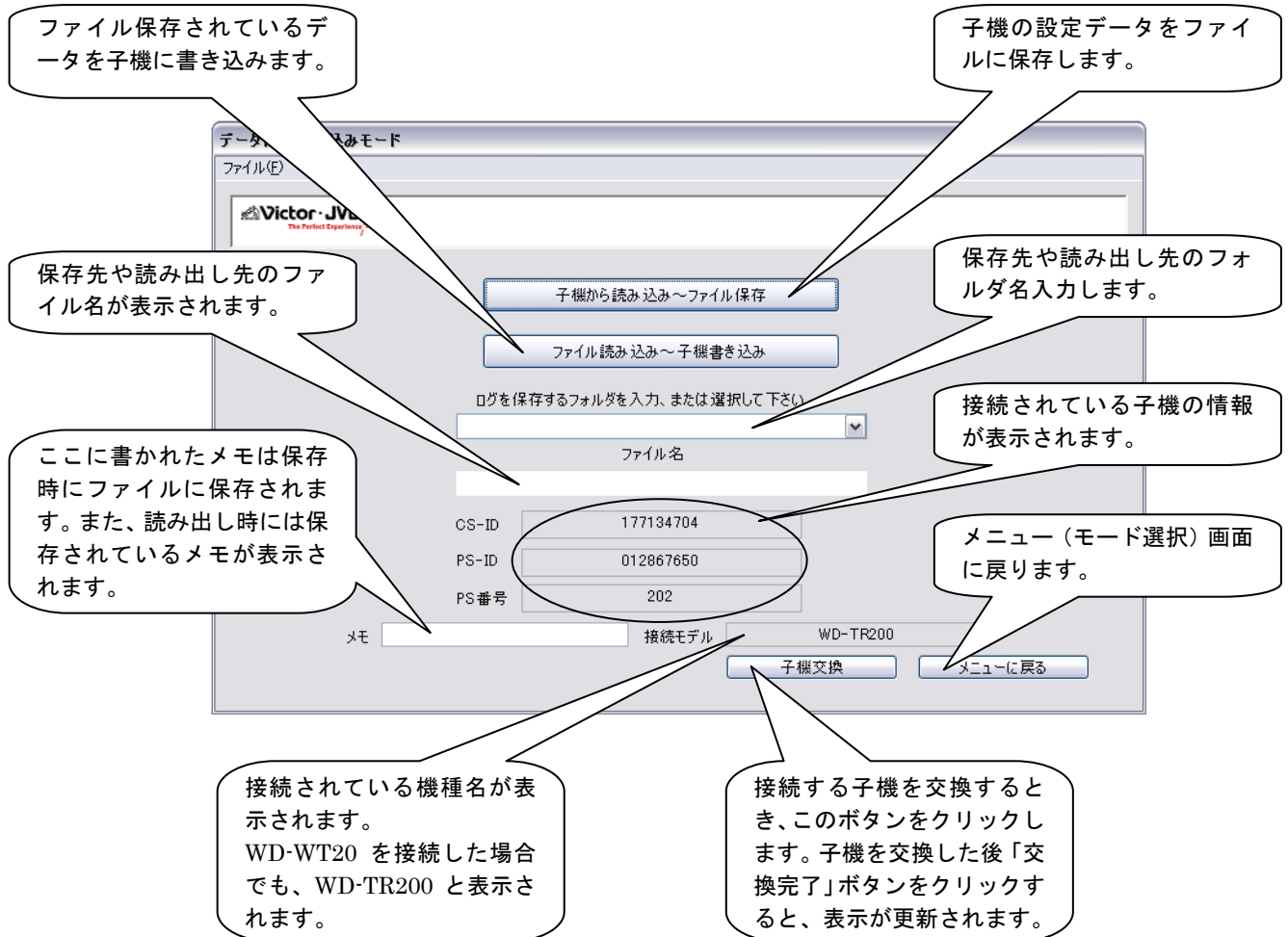
メニュー（モード選択）画面または子機設定登録モード画面で入力したメモが印刷されます。

メニュー（モード選択）画面で入力したログを保存するフォルダ名が印刷されます。

□ データ保存書き込みモードの使いかた

メニュー（モード選択）画面の「データ保存書き込みモード」ボタンをクリックすると、次のようなデータ保存書き込みモード画面が表示されます。

子機から設定データを読み出してファイルとして保存したり、保存されたファイルから設定データを読み出して子機に書き込むことができます。



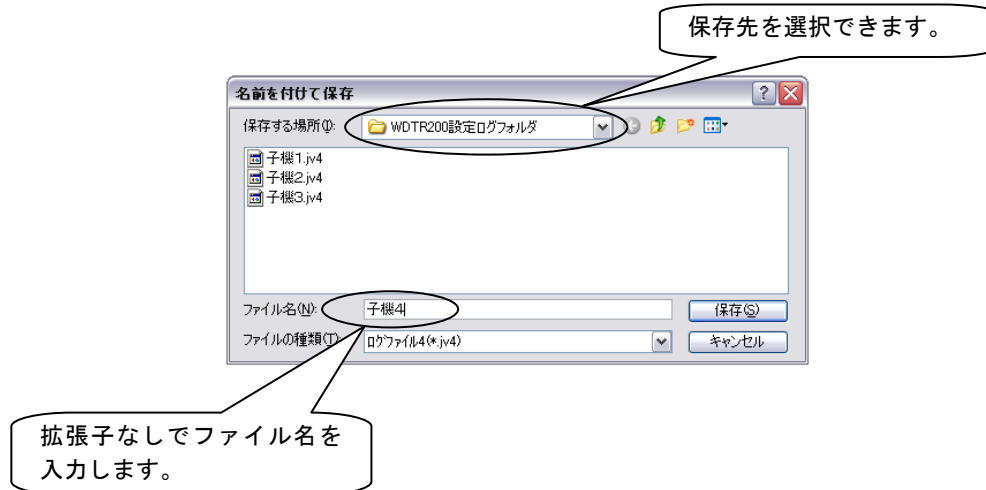
子機からの読み込み～ファイル保存

子機から設定データを読み出してファイルとして保存します。

「名前を付けて保存」ウィンドウが表示されます。

設定データを保存する場合は、ファイル名を入力して「保存」をクリックしてください。中止する場合は、「キャンセル」をクリックしてください。

保存先のファイル名は拡張子なしで入力してください。入力したファイル名に「. jv1」、「. jv3」、「. jv4」の拡張子が付いたファイルが保存されます。



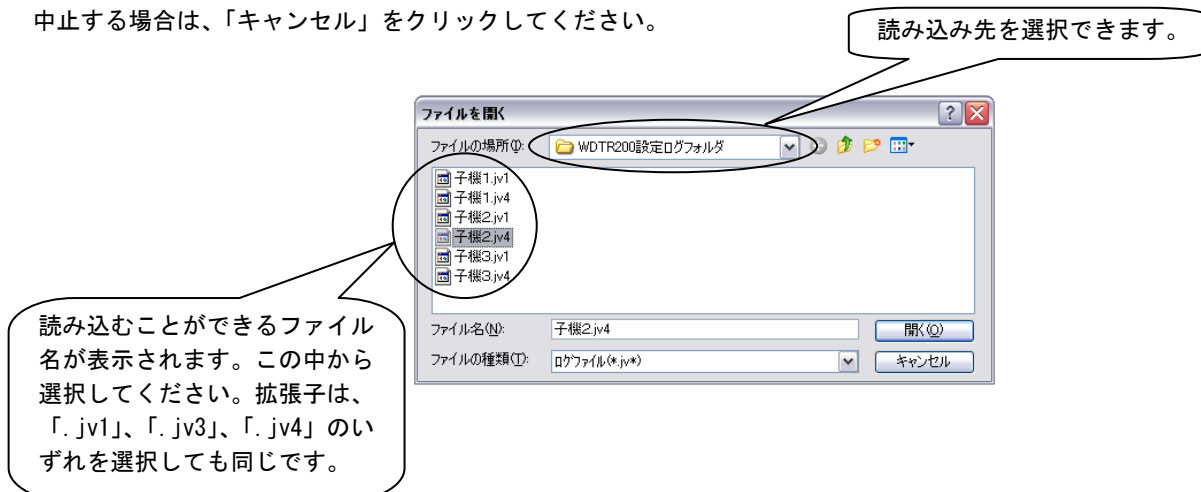
- データ保存書き込みモード画面でログを保存するフォルダ名を入力しない場合は、「C:¥WDTR200 設定ログフォルダ」が設定の保存場所になります。
- データ保存書き込みモード画面でログを保存するフォルダ名を入力した場合は、「C:¥WDTR200 設定ログフォルダ」の下にある指定したフォルダが設定の保存場所になります。指定したフォルダが存在しない場合は、自動的に生成されます。
- 保存場所は変更することもできます。

ファイル読み込み～子機書き込み

保存されたファイルから設定データを読み出して子機に書き込みます。

「ファイルを開く」ウィンドウが表示されます。

ファイルを読み込んで子機に書き込みたい場合は、読み込みたいファイルを選択して「開く」をクリックしてください。中止する場合は、「キャンセル」をクリックしてください。



- データ保存書き込みモード画面で読み込むフォルダ名を入力しない場合は、「C:¥WDTR200 設定ログフォルダ」が設定の読み込み場所になります。
- メニュー（モード選択）画面で読み込むフォルダ名を入力した場合は、「C:¥WDTR200 設定ログフォルダ」の下にある指定したフォルダが設定の読み込み場所になります。指定したフォルダが存在しない場合は、自動的に生成されます。
- 設定の読み込み場所は変更することもできます。

日本ビクター株式会社
ビジネス・ソリューション事業部